

コソボ共和国大統領 プログラミング教育の視察

追手門学院小学校 校長 井上 恵二

9月10日、日本との国交樹立10年を記念して来日されたコソボ共和国のハシム・サチ大統領が小学校を訪問されました。旧陸軍関係者が創立し、長い歴史を持ち、さらに最先端の教育を実践しているとして注目されていることから、今回の視察先選ばれました。サチ



大統領は、出迎えた1年生児童たちと握手したり記念撮影したりと交流を深めた後、「メディアアラボ」に移動され、4年生のロボットプログラミング教育の授業をご覧になりました。サチ大統領は「私の国にもロボット教育など斬新なアイデアを展開する小学校を設けたい」と感想を述べられていました。



サチ大統領は「私の国にもロボット教育など斬新なアイデアを展開する小学校を設けたい」と感想を述べられていました。



豊竹咲太夫さん、人間国宝に!

副会長 林 裕悟 (小97期)

豊竹咲太夫さん(本名・生田陽三さん 小68・中高11期)が人間国宝に認定されることになりました。

咲太夫さんは、追手門学院小学校3年生在学時に文楽の世界に入られました。先生方、保護者の方々、お友達など学校ぐるみで応援されての出発だったとのこと。

咲太夫さんは、メディアの取材に対し、「大阪の商人・市民が育ててくださった芸能ですから、大阪の方にたくさん観劇に来ていただければと思います」とお話しになったそうです。

これを機会に、皆様もぜひ一度、文楽を鑑賞されてみてはいかがでしょうか。



程一彦 さんを 偲ぶ



(中4期)

程一彦さんは、誰もがご存じのとおり食文化を通じて多方面にわたり大変なご活躍をされた方ですが、私たち山桜会の活動にも多大な貢献をいただきました。特に、山桜会が2005年から毎年行っている「将来を

考える日」では、大変なご尽力を賜りました。

「将来を考える日」という企画は、様々な職業に就いている卒業生が、母校の在校生に対し、仕事の話、仕事に就くに至った経緯、在校時のことなどを話して、在校生が自分の将来を考える際の参考にしてもらうという企画です。程さんは、この企画の発案段階から加わっていただき、以来ほぼ毎年、講師として来校いただきました。子供たちの健康を気遣うお話や、そもそも人の悪口を言うてはいけない、いつも楽しく過ごしていこうなど生き方に

会長 平泉 憲一 (高[茨木]25期)

関わるお話をやさしくされていたことがとても印象的でした。

あんなにお元気だった程さんが、もう会えないなど信じられませんが、私たちは程さんの教えを守り、いつも笑顔で楽しく過ごしていきますので、これからも見守ってください。

本当にありがとうございました。安らかに休みください。

